

教育方法20 学校文化の創造と教育技術の課題

- | | | |
|-----|--------------------------------------|-------|
| I | いま、なぜ不登校なのか —学校文化を問う— | |
| 一 | 不登校・高校中退と学校の競争構造 | 乾 彰夫 |
| 二 | 子どもの不登校と学校文化と
—高校転編入の子どもにかかわって— | 小田切 正 |
| II | 学校における教科外指導・特別活動の今日的課題 | |
| 一 | 教科外指導の今日的課題 | 西村 誠 |
| 二 | 今日の教科外教育をめぐる構図 —企業社会のなかで— | 浅野 誠 |
| 三 | 望ましい人間関係の育成 —いじめ問題の克服にむけて— | 江川 玫成 |
| III | 低学年カリキュラム・生活科の内容・方法および評価 | |
| 一 | 合科学習の遺産の再評価 —池田小菊の実践から考える— | 中野 光 |
| 二 | ドイツにおける「事物科」の教授学的検討 | 小野 擴男 |
| 三 | 総合学習の発想に立つカリキュラム・授業・評価 | 平野 朝久 |
| 四 | 低学年カリキュラムの構成原理について
—問うことを学ぶ授業づくり— | 柴田 義松 |
| IV | 新教育課程編成における個別化・個性化 | |
| 一 | 学校における個性化カリキュラムの編成にむけて | 高浦 勝義 |
| 二 | 教育課程編成における課題と個別化・個性化 | 天野 正輝 |
| 三 | 全教育活動の総和の所産としての個性 | 水内 宏 |
| V | 教育技術とは何か —「その知」のあり方と有効性を問う | |
| 一 | 理由づきの教育技術から教育理論が始まる | 斉藤 勉 |
| 二 | 三木清の技術論と現代の教育技術 | 藤原 幸男 |